

富士市立高等学校 学校運営協議会		第40回	会議要旨 (令和8年度)
開催日 令和8年6月10日 水曜日 開 会 14時00分 閉 会 16時30分	会議場 富士市立高等学校 2階 会議室 オンライン併用		
出席者 *敬称略 【学校運営協議会委員】 井上美千子（オンライン） 塩田真吾（オンライン） 加藤一広 木野正美 中村孝一 橋本仁 畑裕美 齋藤崇 櫻井祥行 豊島実侑委員は所用のため欠席 【市立高校教員】 青木伸介 山本哲也 石村俊樹 松浦 真一郎 望月佑輔 池ヶ谷和明 佐藤かおり 永田裕一 【市立高校職員】・【市教育総務課】 榎俊英 吉野正敏 後藤大輝 遠藤真輝			
開会			
<p>会長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 探究という学びを核に据えた授業や、地域での活動を高く評価している。 ・ 生徒を信じて場を設定し、全教職員でバックアップする体制を応援したい。 <p>校長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校再編について 国の2040年に向けた改革の中で、県のグランドデザインが提示された。 富士市でも「富士市立高等学校あり方審議会」を立ち上げ、来月から約1年半かけて本校のあり方を審議する。 ・ 市立高校の重要性について 県立化した場合、財源やコーディネーター不足により、現在の先進的な探究学習（市役所プラン等）の継続は困難になる。 ・ 探究学習の意義について 探究学習を通じてプレゼン力やコミュニケーション力などの「コンピテンシー（非認知能力）」を伸ばし、学力を底上げする。 ・ 安全対策について 自転車のヘルメット着用を推進。地域ぐるみで習慣化を目指す。 			

委員紹介

学校教育活動の説明

- ・学校教育目標「自立する若者」の育成、スクールミッション「CDI（コミュニティ・ドリーム・インクワイアリー）」の説明。
- ・探究学習（究タイム、市役所プラン、自分スピーチ等）、3 学科（総合探究科・ビジネス探究科・スポーツ探究科）の特色紹介。
- ・6 つの資質能力の育成状況やアンケート結果の報告。

授業参観 学校内を見学しながら、各授業を参観していただいた。

授業参観に関する質疑応答

- | | |
|----------|--|
| (意見・質問等) | <ul style="list-style-type: none">・生徒が落ち着いて集中して学んでおり、志の高さを感じた。・各教室のプロジェクター設備が非常に便利で羨ましい。
小中学校にも是非設置してほしいと思います。・1 年生の数学で行われている習熟度別授業が、丁寧で素晴らしい。 |
| (意見・質問等) | <ul style="list-style-type: none">・プロジェクター等の設備や壁の掲示物に市立高校らしさが出ていた。
次回はぜひ探究授業や PIRroom 教室など特色ある設備・授業を参観したい。 |
| (意見・質問等) | <ul style="list-style-type: none">・社会に出てから必要な「一人で黙考・熟考する」習慣が育まれており好感が持てた。・ビジネス探究科の学習内容は、社会に出てから非常に役立つものだと感じた。 |
| (意見・質問等) | <ul style="list-style-type: none">・基礎教育の座学であっても、授業によってはもう少しグループワークを取り入れても良いのではないか。 |
| (意見・質問等) | <ul style="list-style-type: none">・プロジェクターの活用など時代の進化を感じたが、生徒同士がさらに意見交換を賑やかに行う場面も見てみたい。 |
| (意見・質問等) | <ul style="list-style-type: none">・探究の前提として、基礎学力を一斉授業（座学）で謙虚に学ぶステップも重要である。・1 年生から 3 年生に上がるにつれて、ソワソワした状態から落ち着いた学びへと変化する発達段階が見られた。 |

学校からの報告

◇部活動報告

- ・ほとんどの部活動が県大会以上に出場しており、陸上部は東海大会に行く者もいます。
- ・サッカー部はプリンスリーグに所属しており、今週末からまた再開されて戦いに入っていきます。
- ・チアリーダー部に関しては、来週全国大会出場に向けての大会が行われます。
- ・水泳部が 10 種目で県大会出場を果たしています。

◇地域交流事業報告

- ・ 4月1日から6月現在までの地域交流事業の一覧の説明をしました。
文化部を中心に土日の貢献活動が活発に行われています。
- ・ 今後も地域貢献と交流を図っていくため、次回も報告する予定でいます。

◇令和7年度進路状況報告

- ・ 四年制大学の進学率が53%となっています。
国公立大学に5名が進学し、そのうち3名は一般入試で合格しています。
令和6年度の就職が20%だったのに対し、12%と例年並みに戻った印象です。
- ・ 令和8年度の3年生の進路希望調査は令和7年度と同様の数値となっています。
令和7年度並みの進路結果を期待しています。一般選抜で難関私大に挑戦する生徒もいますので、引き続き頑張らせたいと思います。

学校からの報告に対する質疑応答

(意見・質問等)	・ 例年総合型選抜での合格者数が多い印象を受けておりますが、そのあたり昨年度あるいは変化も含めて教えていただきたい。
(回答)	・ 例年通り総合型選抜での合格がかなり多いというところではあります。 一般選抜で受験していく生徒については10名前後です。
(意見・質問等)	・ 進路の内訳のうち、「その他」とは何か。答えられる範囲で。
(回答)	・ 進学準備や海外進学準備等です。

「令和8年度学校経営計画」の説明

1. 教育目標とスクールミッション

- ・ 土台となる目標：「自立する若者の育成（自ら考えて動ける人間）」を掲げ、副題は「未見の我に出会う」としている。
- ・ 地域との共同：静岡県下で唯一の「地域交流課」を設置し、市民に開かれた学校を目指している。
- ・ 社会で必要な力：キャリア教育や探究学習を通じ、主体性や協働する力など6つのスクールポリシーの実現を目指す。

2. 昨年度の評価と課題

- ・ 自転車事故の対策：富士地区は坂が多く自転車事故が多発しているため指導を行っているが、評価は「B（もう一息）」にとどまる。
- ・ 学習習慣の確立：部活動による疲労や宿題提出の難しさ（不登校リスクへの配慮）から家庭学習が定着せず、評価が毎回「C」と苦戦している。

3. 今年度の取り組みと今後の方針

- ・ 目標数値の見直し：学習時間管理ソフト（Cラーニング）などを活用しつつ、実態に合わせて目標数値を変更した。
- ・ 委員への要望：少子化や財政面を踏まえ、学校の評価だけでなく「今後の学校のあり方や最適な目標数値」についての意見を求めている。

「令和8年度学校経営計画」に対する質疑応答

<p>(意見・質問等)</p>	<p>1. 施設設備の改善について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防や建築物の設備点検の指摘箇所について、現在の改善状況はどうなっているか。 ・今年度も継続して対応している箇所はあるか。
<p>(回答)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・消防設備の対応中、対応済の箇所については、完了しました。 ・建築物設備は順次対応を進めています。 ・予算内でできるものはその都度対応し、無理な場合は翌年度に予算要求します。
<p>(意見・質問等)</p>	<p>2. 中学校での学校説明会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校側は高校説明会の活動をどのように捉えているか。 ・市立高校は非常に有力な進路先として捉えられている。 ・直接説明を聞くことで教育課程の良さを理解でき、非常に意義深い。 ・実際の高校生による案内も好評で、中学生の満足度は非常に高い。
<p>(意見・質問等)</p>	<p>3. 地域交流と教員の負担軽減について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・午後8時以降の帰宅割合90%以上という目標の数値化は素晴らしいが、達成は厳しいのでぜひ頑張ってもらいたい。 ・地域交流の推進（土日の勤務など）と、先生方の負担バランスはどう考えているか。
<p>(回答)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の負担軽減と地域交流のバランスは悩ましい課題となっています。 ・午後8時以降の残業を減らし、働きやすい環境への改善を随時行っていきます。
<p>(意見・質問等)</p>	<p>4. 悩み事相談システムについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「相談できる人がいる」の数値が高く、生徒が先生を信頼している証拠である。 ・学年が上がるごとに該当生徒が減る良い推移だが、毎年このような傾向なのか。
<p>(回答)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相談システムが非常にうまく機能しています。 ・養護教諭や教育相談室長が話を聞き、重い案件はスクールカウンセラーへ繋いでいます。 ・県立高校よりも手厚い、週に2回のカウンセラー配置を行っています。

